

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

開発肥料株式会社 竹原工場

(2) 事業所の所在地

広島県竹原市福田町東新畑295番地

(3) 業種

その他の化学肥料製造業(1619)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成24年度を基準年度とし、平成25年度から平成29年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産量 (t)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a) 平成24年度	目標年度		計画期間の実績 (上段:原単位実績(d), 下段:削減量の対基準年度比(e))			
		上段:目標(b) 下段:削減率(c) 平成29年度	平成25年度				
エネルギー起源CO2	0.4903	0.4658 5.0	0.5004 -2.1				
非エネルギー起源CO2							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス排出量総計	0.4903	0.4658 5.0	0.5004 -2.1				
エネルギー消費原単位(原油換算kl/千t)	186.16	176.90 5.0	185.21 0.5				
実績に対する自己評価	<p>平成25年度エネルギー起源CO₂は、基準年度に比べて原単位ベースで2.1%増加した。</p> <p>《原単位増加の原因》 平成25年度のエネルギー消費原単位は185.21kl/千t(前年度比0.5%減)と、やや減少傾向であるにもかかわらず、平成25年度CO₂排出量算出に使用する中国電力のCO₂排出係数が前回よりも0.000081t-CO₂/kWh増加している(0.000657→0.000738t-CO₂/kWh)ことから、温室効果ガス排出量は原単位ベースで0.5004と2.1%増加した。</p>						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・ 焼成熟風炉の最適空気比の設定 ・ 最適焼成温度の検討 ・ 平成25年度は焼成炉内部を補修したことにより燃焼効率が上昇し、燃料削減となった。
2	電気使用量の削減	エネルギー使用量(灯油、軽油、電力)のCO ₂ 原単位は基準年度に対し、 ・ 平成25年度：2.1%増加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 焼成熟風炉の最適空気比の設定 ・ 最適焼成温度の検討 ・ 平成25年度は焼成炉内部を補修したことにより燃焼効率が上昇したことで通風系統ブロワ2台の負荷低減となり電力量削減となった。 ・ 昼休憩及び夜間の不要照明消灯。 ・ 空調温度の管理(夏季28℃, 冬季20℃設定)
3			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	コピー用紙使用量削減	毎年のコピー用紙使用量目標を前年度実績比約10%減と設定し、削減に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両面コピー、再利用紙の使用推進。 ・ 使用量集計表を毎月掲示。 ・ 環境目標説明会を開催し、目標を周知。
2	事務用品グリーン調達 の推進	グリーン調達率目標75%以上。	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリーン調達率集計表を毎月掲示。 ・ 環境目標説明会を開催し、目標を周知。
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。